2025年3月期第2四半期決算説明資料

2024年12月9日



スタンダード市場 証券コード:5388

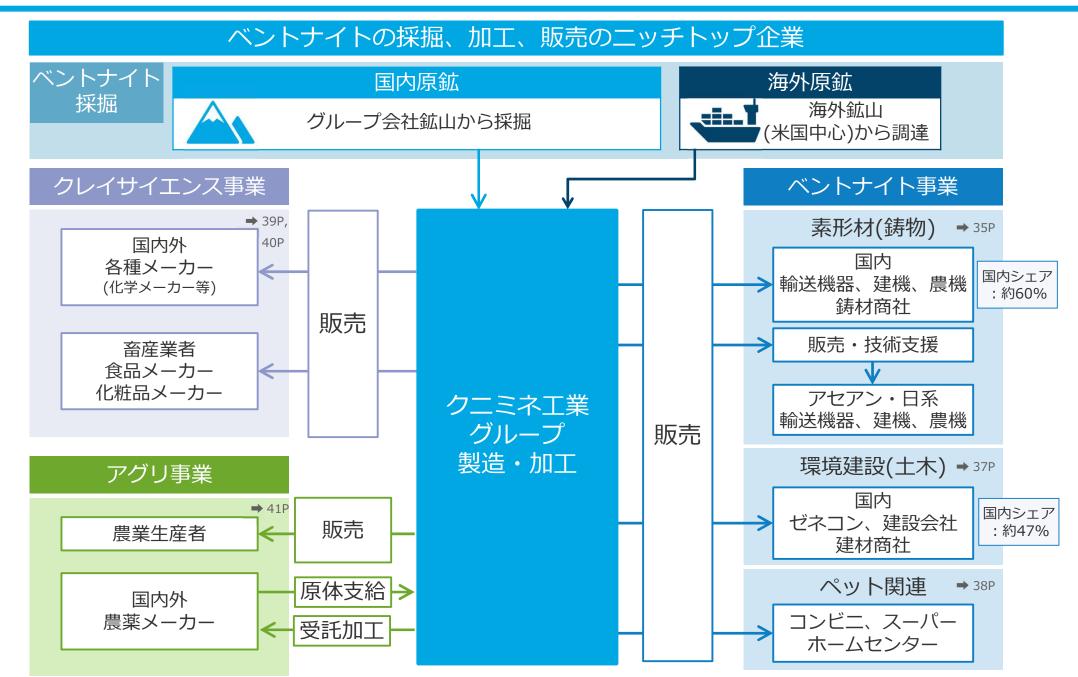




当社ビジネスモデル・事業目的及び構成

当社ビジネスモデル





当社事業目的及び構成



■ 当社事業目的

『資源を科学して未来のニーズを創造、産業の発展、社会インフラ整備に貢献する』

当社グループは、貴重な地下資源である「ベントナイト」の採掘・製造・販売事業のほか、ファインケミカル、 ライフサイエンス、化粧品の各分野で研究開発を推進するクレイサイエンス事業、農業分野に貢献するアグリ事 業を展開しております。未来のニーズを創造することで、お客様に新しい価値を提供し続けます。

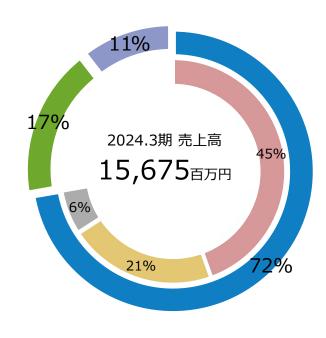
■ 事業別売上構成割合

クレイサイエンス事業

粘土素材を科学することで、貴重な地下資源から持続可能な価値を 創造し、既存領域の拡大と新規事 業の創出を推進

アグリ事業

農薬粒剤の生産活動を通じて食の 安定供給に貢献し、農業分野の多 様なニーズに対応



ベントナイト事業

モンモリロナイトを主成分とする粘 土鉱物を加工し、膨潤性・増粘性な どの特性を活用して、様々な事業分 野に展開

素形材分野

耐熱特性に応じた製品、体系化 した技術を通じて、素形材産業 にソリューションを提供

環境建設分野

土と水にイノベーションを起こ し、地球環境問題に貢献

ペット分野

ペットとの暮らしに快適さを与 え、社会に癒しと笑顔を創造



- 1 業績トピックス
- 2 2025年3月期 第2四半期決算概要
- 3 2025年3月期 通期見通し
- 4 中期経営計画概要(2024年3月期-2026年3月期)





1/4 業績トピックス

代表取締役社長 國峯保彦

2025年3月期 第2四半期決算業績トピックス



売上高	上高営業利益経	
7,364百万円 ▲0.5%	461百万円 +12.4%	581百万円 ▲15.9%

%:前期比

グループ全体

 売上横ばい、営業利益増加 販売数量が減少となるも、価格改定効果により売上 は前期並み、営業利益は0.7pt改善 (5.6%→6.3%)

ベントナイト 事業 ● 減収減益 外部環境の影響を受けた販売数量減により売上利益と もに前期を下回る

クレイサイエンス 事業 ● 増収増益 前期に進めた価格改定効果が期初から寄与し、大幅に 増収増益



2/4 2025年3月期 第2四半期決算概要

2025年3月期 第2四半期決算概要



- 販売数量の減少により、売上は計画未達となるも価格改定効果を主因に営業利益 は増加
- 経常利益以下は、保有外貨建資産を活用した輸入原鉱決済での為替評価益が無く なり減少

(百万円)	2024年3月期 上期	2025年3月期 上期(実績)	前年同期比	2025年3月期 上期計画	計画比
売上高	7,397	7,364	▲ 0.5%	7,500	▲ 1.8%
営業利益	410	461	+12.4%	450	+2.4%
経常利益	691	581	▲ 15.9%	540	+7.6%
親会社株主に 帰属する 当期純利益	472	374	▲ 20.7%	350	+6.9%

事業別業績概要(上期)



	(百万円)	24.3期	25.3期	前年 同期比
	ベントナイト	5,785	5,413	▲ 6.4%
事業別	クレイサイエンス	773	1,016	+31.4%
売上高	アグリ	838	934	+11.4%
	合計	7,397	7,364	▲0.5%
	ベントナイト	727	541	▲25.6%
事業別	クレイサイエンス	▲22	193	-
営業利益	アグリ	▲ 93	▲18	-
	合計	611	716	+17.2%
全社費用含む調整額		▲200	▲254	-
営業利益		410	461	+12.4%

概要

ベントナイト

● 素形材分野の主要得意 先減産、環境建設分野 の地熱発電向け需要減 少により減収減益

クレイサイエンス

前期から取り組みを進 めている価格改定効果 に加え、輸出向けの需 要回復により増収増益

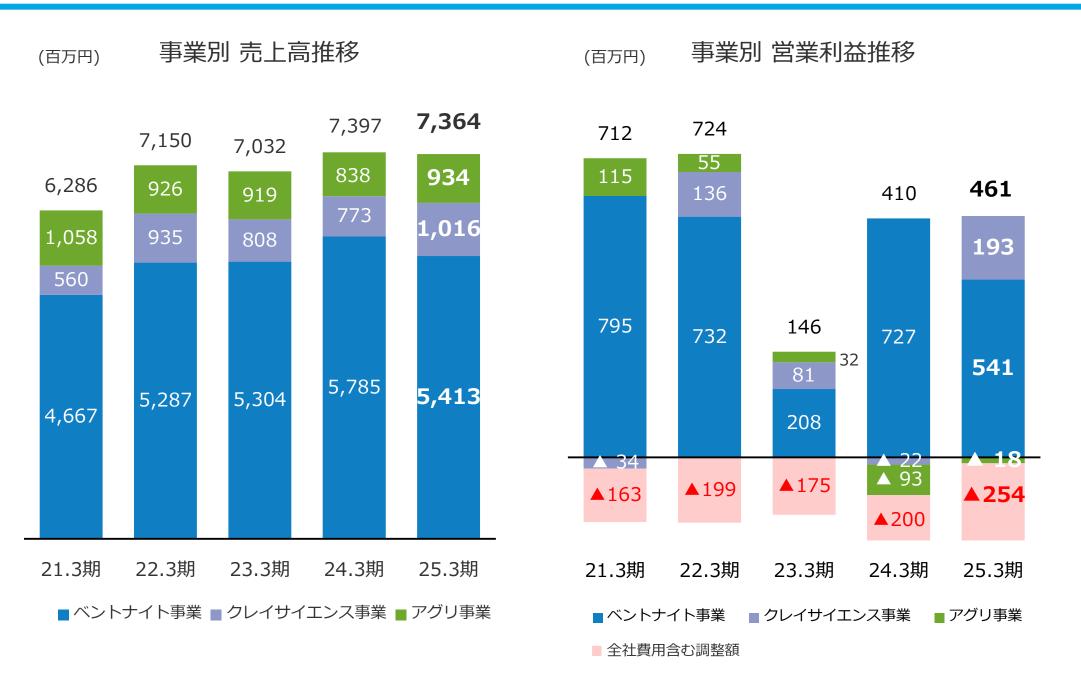
アグリ

● 殺虫・殺菌剤の需要増 加により増収、価格改 定により赤字幅縮小

※農薬需要の季節変動により下期に収 益が偏重

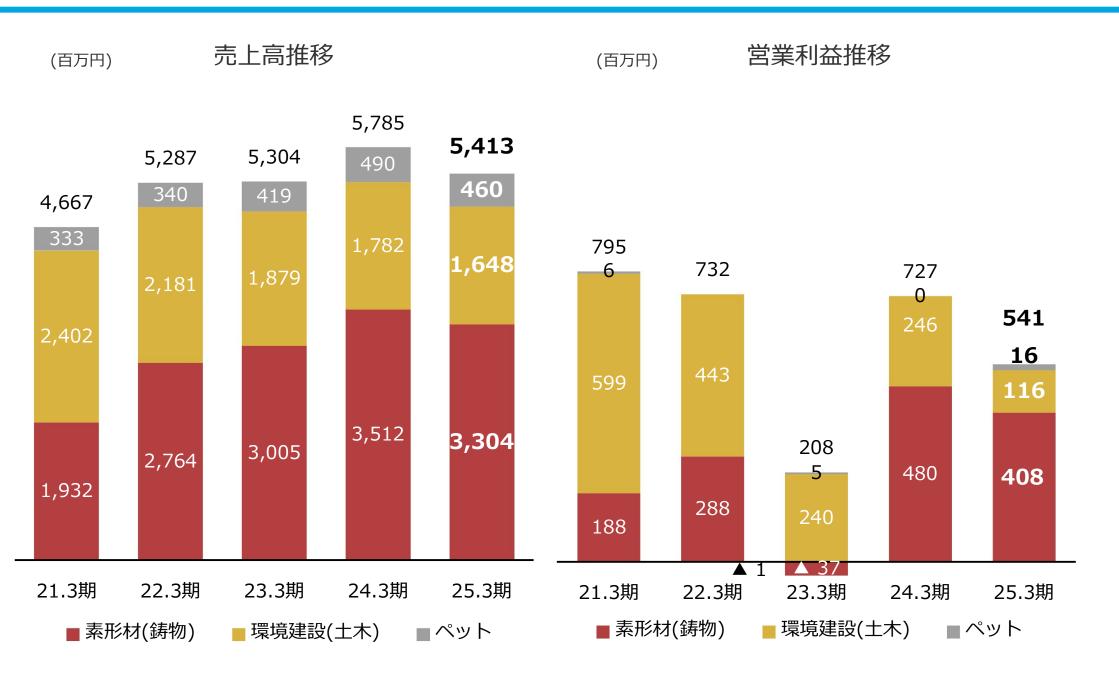
補. 事業別業績推移(上期)





補. ベントナイト事業 業績推移(上期)









3/4 2025年3月期 通期見通し

代表取締役社長 國峯保彦

2025年3月期 通期予想

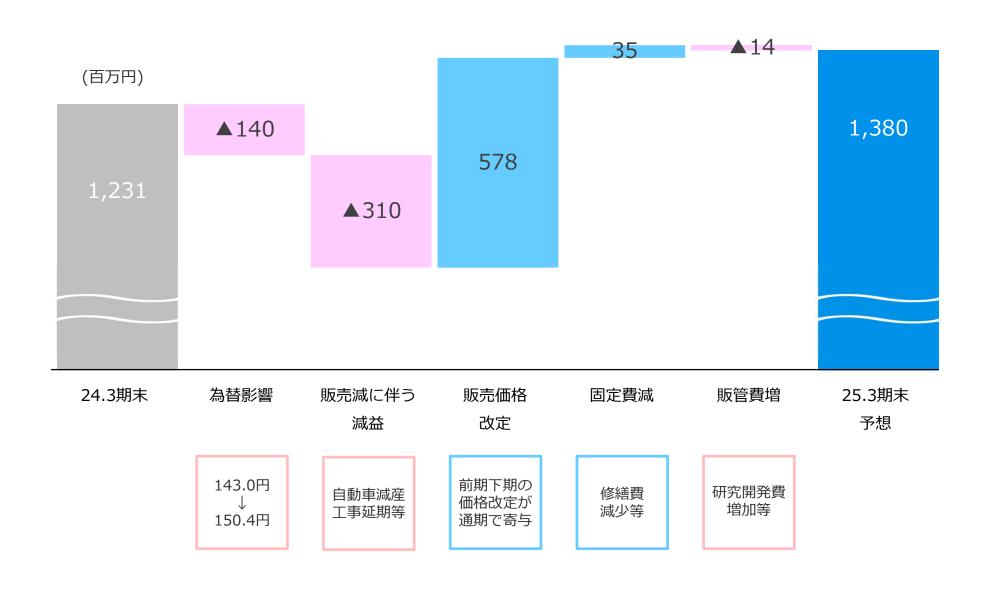


- 期初から寄与している価格改定効果により、増収及び営業利益増加を見込む
- 経常利益以下は、保有外貨建資産を活用した輸入原鉱決済での為替評価益 (24.3期実績:217百万円)が無くなり減少見込み

(百万円)	2024年 3月期	2025年 3月期予想	前年同期比
売上高	15,675	16,300	+4.0%
営業利益	1,231	1,380	+12.1%
経常利益	1,644	1,560	▲ 5.2%
親会社株主に帰属 する 当期純利益	1,043	1,037	▲0.6%

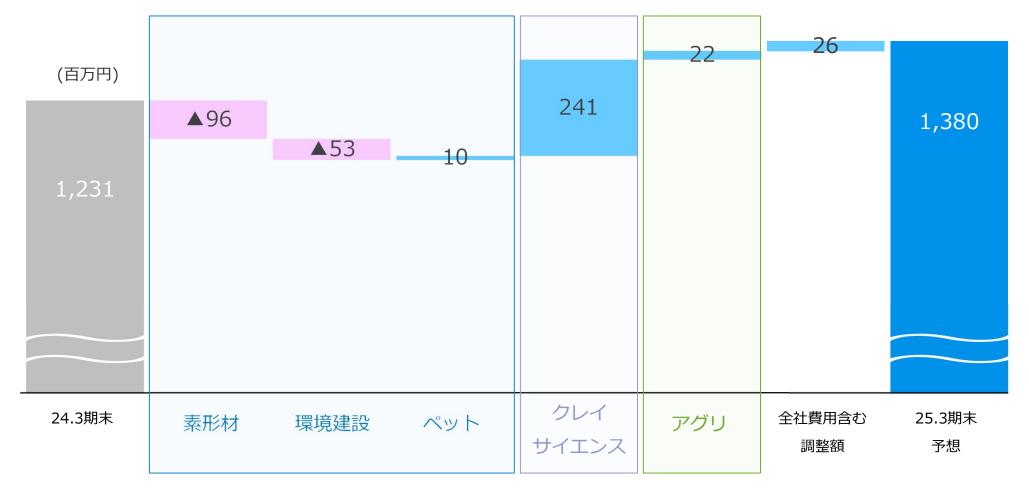
24.3期→25.3期 営業利益増減要因(予想)





セグメント別 営業利益増減要因(予想)





ベントナイト▲139百万円

主要得意先の減産影響(素形材)

建設資材高騰や人手不足等により一般土木工事需要が低調(環境建設)

価格改定効果・輸出向け需要が回復 クレイサイエンス+241百万円

アグリ+22百万円 価格改定効果・種子コーティング案件伸長

補. セグメント別 下期業績予想



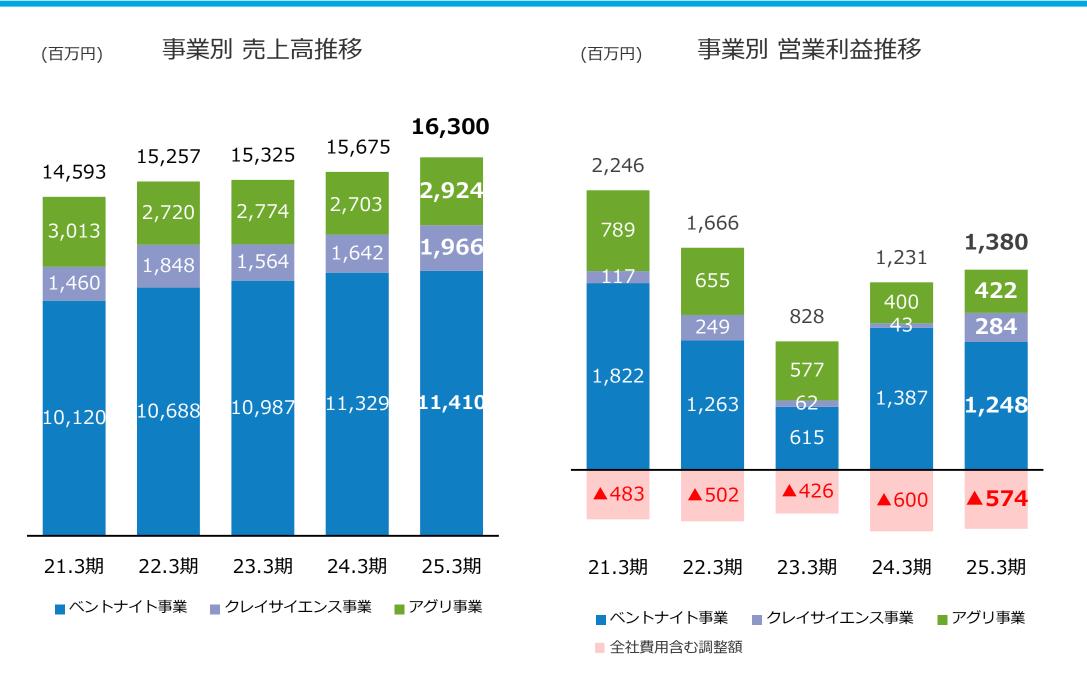
		(百万円)	24.3期 (上期)	24.3期 (下期)	合計
	表形オオ/纬坳\	売上高	3,512	3,460	6,972
	素形材(鋳物)	営業利益	480	472	952
	環境建設(土木)	売上高	1,782	1,569	3,351
	垛况廷政(工小)	営業利益	246	163	409
	ペット	売上高	490	514	1,004
	/\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	営業利益	0	26	26
	ベントナイト計	売上高	5,785	5,544	11,329
		営業利益	727	660	1,387
	クレイサイエンス	売上高	773	869	1,642
		営業利益	▲22	65	43
	アグリ※	売上高	838	1,865	2,703
	<i>y•y•y</i>	営業利益	▲ 93	493	400
	全社費用含む調整額	_	▲200	▲ 400	▲600
—————————————————————————————————————		売上高	7,397	8,278	15,675
	グループ計	営業利益	410	820	1,231

25.3期 (上期実績)	25.3期 (下期予想)	合計
3,304	3,648	6,952
408	448	856
1,648	1,750	3,398
116	240	356
460	600	1,060
16	20	36
5,413	5,997	11,410
541	707	1,248
1,016	950	1,966
193	91	284
934	1,990	2,924
▲18	440	422
▲254	▲320	▲ 574
7,364	8,936	16,300
461	919	1,380

[※] 農薬需要の季節変動により下期に収益が偏重

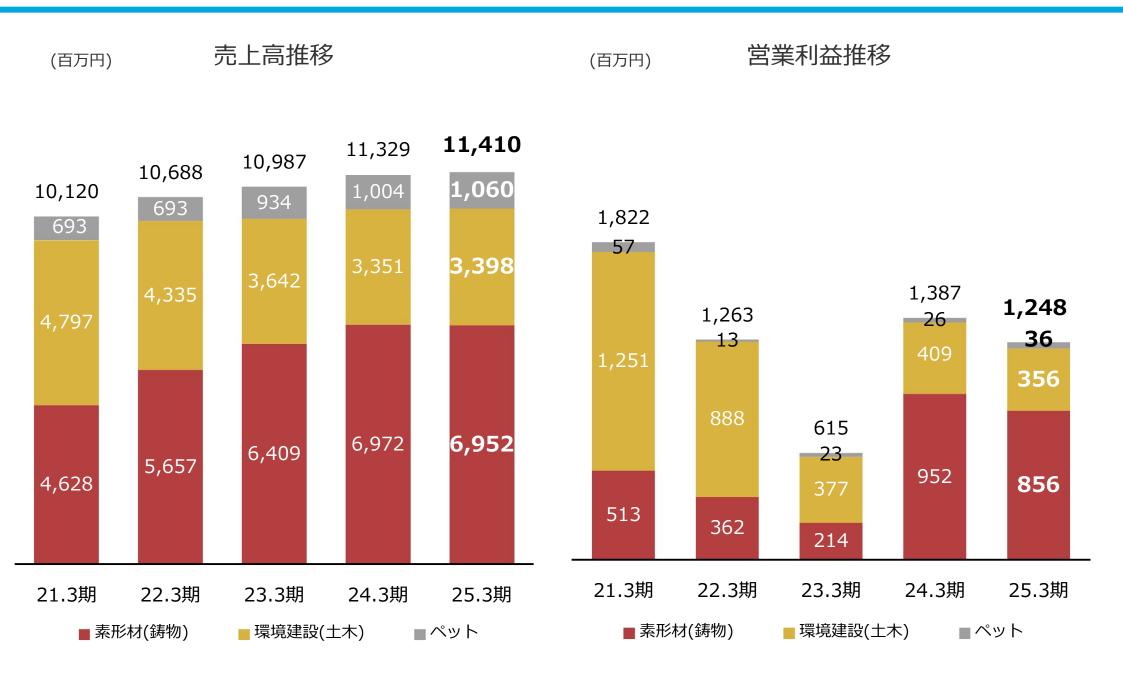
補. 事業別業績推移(通期)





補. ベントナイト事業 業績推移(通期)



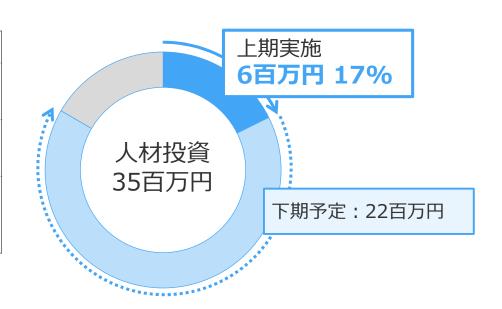


投資計画の状況



■ 実施内容および予定

種類	予算	内容
人材投資	35 百万円	・役職階層別研修 ・AI研修
設備投資	1,000 百万円	・生産性向上 ・システム刷新
研究・資源 開発	350 百万円	・資源開発探査 ・採鉱技術開発 ・新製品開発





株主還元方針



- 当社グループは「株主の皆様に対する安定的な利益還元」を経営最重要課題のひとつ としており、継続的な利益還元に努めてまいります
- 25.3期の配当は、1株当たり15円の中間配当を実施し、期末配当は1株当たり25円を 予定しております



配当の具体的方針

- ✓ 配当性向30%を目安
- ✓ 1株当たり配当金の下限を40円に設定
- ✓ 中間配当の実施(24.3期より)

安定配当を継続し、中長期的には 利益向上による増配を目指してまいります



中期経営計画概要(2024年3月期-2026年3月期) 代表取締役社長 國峯保彦

中期経営計画(24.3期~26.3期)概要



基本方針

資源を科学して未来のニーズを創造、産業の発展、社会インフラ整備に貢献する

基本戦略

カーボンニュートラル・国土強靭化関連 静脈産業への取組み

- ●地熱発電事業/放射性廃棄物処理事業への注力 (環境建設分野)
- ●森林整備事業(アグリビジネス分野)
- ●インフラ整備事業(国土強靭化)の取込み (環境建設分野)

海外市場展開・海外鉱探査

- ●素形材分野、ファインケミカル分野、 ライフサイエンス分野のアセアン市場展開
- 高品質原鉱の安定調達に向けた海外鉱利用

新規事業領域拡大

- ●種子コーティング技術(アグリビジネス分野)
- ●ガスバリア材料(ファインケミカル分野)

企業体質強化

- ●人的投資強化(教育+待遇面)
- ●ESG経営及びDX (デジタルトランスフォーメーション)の推進
- ●新鉱区開発、新採掘法開発

中期経営計画 事業別目標



- ベントナイト事業の堅調な成長による収益基盤の強化と、クレイサイエンス事業 の拡大により新たな収益の柱を確立
- 今期よりクレイサイエンス事業からアグリ事業を独立させ、種子コーティングを 始めとした新規案件による市場開拓を推進

	(百万円)	23.3期実績
クニミネ工業	売上高	15,325
グースや上来	営業利益	828
ベントナイト事業	売上高	10,987
ハンドナイド手来	営業利益	615
クレイサイエンス事業	売上高	1,564
ソレイリイエノ人争未	営業利益	62
アグリ事業	売上高	2,774
アクソデ米	営業利益	577

※全社費用に▲600百万円を見込む



質疑応答



補足資料

サステナビリティへの取組み



■ 当社グループにおけるサステナビリティの考え方・基本方針

クニミネ工業グループは『経世済民』の経営理念を掲げ、貴重な地下資源であるベントナイトを中心に、高付加価値商品や サービスの展開により基幹産業を支え、国の繁栄に貢献してまいりました。

当社グループが中核事業として取り扱うベントナイトは、自然環境への負荷が少なく、生命体と環境にやさしい無機鉱物です。 この貴重な資源を科学し、未来のニーズを創造することで、社会への価値を提供していきたいと考えています。

当社グループの技術を活用して、廃棄物処理などの社会課題の解決や、新たな産業を支援・創出していくことがESGへつなが る取り組みと考えており、事業活動を通じて社会的な目標であるSDGsの達成を目指しております。

環境(E)

- 環境へ配慮した取り組みを進めて まいります
- 自社CO2排出量の低減
- 循環型社会の実現を目的とした静脈産業 への貢献
- 持続可能な社会に向けた製品の一層の研究・開 発の促進











社会(S)

- 人材投資の強化、労働環境を整備し、 地域社会に貢献してまいります
- AI教育やRPA研修の推進など人材投資の強化
- 女性活躍推進法の推進
- ・育児・介護休暇、年次有給休暇等の取得推進
- 高齢者雇用安定法に適切に対応し、長く 働ける環境の整備
- 各拠点の経済活性化のため、地元の自治体や企 業との協力







ガバナンス (G)

- リスクマネジメントを強化し、 持続可能な経営を目指します
- ・取締役会の監査・監督機能の一層の強化の ため、監査役会設置会社から監査等委員会 設置会社への移行
- 取締役会の機能の一層の向上を図るため、 取締役会の実効性評価を開始
- 内部通報制度の実効性向上のため、独立した社 外の内部通報窓口を設置
- 取締役会の透明性を更に向上させるため、 独立役員を1名増員して4名体制に(4名/11名)





サステナビリティ関連事業機会目標値



- 当社グループでは、サステナビリティに関連する事業機会として『重金属、放射性廃棄物 処分事業』『地熱発電事業』『農林水産振興事業』を重要事業機会と捉えて営業活動の強化、 CO2排出量の削減、関連する研究開発投資、設備増強投資に注力して参ります
- 2026年3月までの目標値に、以下内容を掲げております



人材の多様性確保・育成に関する目標値



- 当社グループは、性別・年齢・国籍・人種・宗教・障害の有無・性自認および性的指向等に関わらず、 社員一人ひとりが、感受性や価値観等の違いを尊重し、企業価値向上および社会貢献を目指せる社内制度 構築および環境整備を推進し、多様性を新たな発想、視点へとつなげ、組織横断的に連携し、イノベー ションに向けて突き進んでいく集団を作り上げることを目指します
- 2026年3月までの目標値に、以下内容を掲げております



※1:株式会社ビズアップ総研が提供するオンライン研修サービス「e-jinzai」への月毎のアクセス数の平均。 同一講座の重複受講及び全体教育は除外。

※2:調査には(株)アトラエが提供する「wevox」を利用、"自己成長への支援"を集計

※3:役員・短期臨時員・パートタイマーを除く

※4:重大労働災害:死亡、負傷又は疾病により、障害等級第1~7級に該当した労働災害

カーボンニュートラルに向けた取組み



カーボンニュートラルに向けた中長期的対応

- 中期的な対応(~2030年)はCO2削減を重点課題とし、太陽光パネル・水力発電(小規模)・高効率燃 焼設備・各種省工ネ機器等のあらゆる工コ設備の導入を、可能な限り進めていく
- 長期的な対応(~2050年)では、Scope1のCO2削減に向け、原鉱の採掘段階から見直しを進めていく。 具体的には原鉱の含水率低減を狙いとし、採掘技術・細粒化技術の高度な開発を進めることで製造工 程の大幅な見直しを図る。加えてコストダウンも進め、競争力強化にもつなげていく

Scope2 排出量目標:ゼロ (全体排出量は、20.3期比較で 40%削減)

Scope1 排出量目標:ゼロ

中期的対応(~2030)

長期的対応(~2050)



- 環境低負荷製品へのシフト
- CO2フリー電力切替/太陽光パネル導入
- エコ設備(EV・LED照明等)の導入

- 原鉱採掘・細粒化技術の高度化
- 技術革新燃料(水素/人工メタン) への切替え : カーボンフリー燃料

Scope1 Scope2

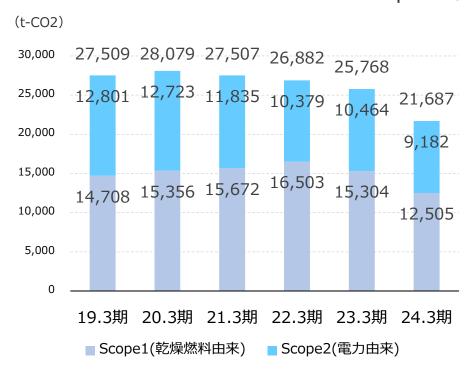
	領域	24.3期までの取組み内容
	Scope1	・ 高効率燃料への切替(いわき工場:灯油→LNG)
>		・ 車両(社用車/フォークリフト)のEV・HV化
	Scope2	• 工場照明(水銀灯)、事業所居室照明LED化
		• 太陽光パネルの設置(工場屋根等)、CO2フリー電力切替

当社グループCO2排出量の状況

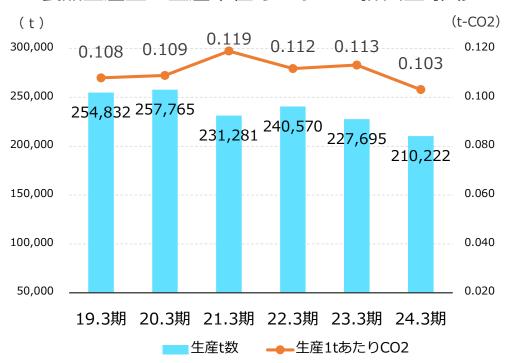


- 24.3期の当社グループCO2排出量は、前期比▲4,081t-CO2となり大幅に削減
 - ・ いわき工場(高機能品クニピアを生産)がLNG導入効果で前期比▲2,282t-CO2となり、大幅削減に寄与
- 今後もカーボンニュートラルの達成に向け、 CO2排出量削減を進めていく

当社グループCO2排出量推移(Scope1.2)



製品生産量・生産単位あたりCO2排出量 推移



*Scope 1:製造等での燃料使用によるCO2直接排出 *Scope 2:購入した電気の使用によるCO2間接排出 *各数値は省エネ法に基づく定期報告値より作成

24.3期までの取組み内容の結果



①高効率燃料への切替(いわき工場:灯油→LNG)

• 乾燥工程で使用する燃料を高効率のLNGに切替



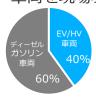


期待効果:

▲900t-CO2削減

②車両(社用車/フォークリフト)のEV・HV化

•車両を現場環境(気候・傾斜等)に応じ、EV・HV化を促進







目標:80%

現場環境を加味した

最大值

③工場照明(水銀灯)、事業所居室照明LED化

工場の水銀灯と、事業所居室の蛍光灯照明のLED化推進





50%(現状) →100%

④発電設備導入(太陽光パネル・小規模水力発電)

• 工場建屋への太陽光パネル設置、近隣の河川・用水路での水力発電



各地区丁場の 環境条件を確認中

結果



- SCOPE1排出量▲2,152t-CO2 (23.3期→24.3期)
- 大幅な削減に成功

結果



- 83%導入
- 更新タイミングに合わせ、対象 車両の更新を実施

結果



- 約90%の設置完了
- 設置工事の遅れにより、一部 工場で切替未了

結果



- 工場建屋の強度不足により 太陽光パネル設置は断念
- 工場内と近辺の水路では発電に 適さない水量

参考資料 クニミネグループを支えるベントナイト プロニミネエ業株式会社

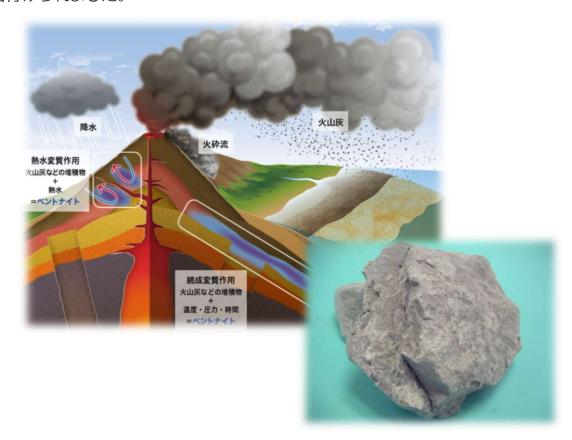


●ベントナイトとは?

ベントナイトとは、粘土鉱物であるモンモリロナイトを主成分とし、石英や長石などの随伴鉱物を 含んでいる弱アルカリ性粘土岩のことを言います。米国ワイオミング州のFort Bentonで発見され、 その地名に因んでベントナイトと名付けられました。

ベントナイトは、水中で吸収す ると膨潤し、さらに分散させると 粘性を示します。また、各種陽イ オンを吸着できる能力など、様々 な特性を持っています。

このような特性を有しているこ とから、鋳物、土木建築、ペット 用トイレ砂や化成品など、利用さ れる産業分野は非常に多岐にわ たっています。そのため、ベント ナイトは"1,000の用途を持つ粘 十"とも称されています。



参考資料 ベントナイトの用途







素形材(鋳物)





自動車や産業機械の部品となる鋳物を造るための鋳型は、 ベントナイトを粘結材として砂を成型することで造られま す。この鋳型は牛産性に優れたものであり、多くの鋳物牛 産に用いられています。

また、鋳物工場で排出される集塵ダストから重金属の溶 出を防ぐ用途にもベントナイトが活用されています。

素形材分野では、ベントナイト製品の販売のみではなく、 黒磯研究所での鋳物砂分析などを通じて、歩留まりの改善 などお客さまの様々なニーズに応える当社グループ独自の トータルエンジニアリングサービスを提供しています。

- ●クニゲルVAS ●クニボンドTY ●ネオクニボンド
- ●「クニボンドM」シリーズ●「クニボンドTY」シリーズ
- ●クニフォース

参考資料 素形材分野 国内シェア推移





2025年3月期 第2四半期 決算説明会 KUNIMINE INDUSTRIES CO.,LTD. 36

参考資料 ベントナイト事業②



環境建設(土木)

ベントナイトの持つ増粘性、遮水性を活かして、建物 の基礎となる杭を形成するアースドリル工法や、 一般廃棄物処分場での遮水工事にベントナイト混合土が 用いられているほか、「クニシール」や「クニシート」

の止水材が、主に地下構造物の防水材料として使用され ています。

今後、脱炭素化への流れを受けて、地熱発電や海底資 源掘削等のボーリング需要も期待されます。更には、 低レベル放射性廃棄物処理用途など、環境負荷が少なく コストパフォーマンスに優れるベントナイトのニーズが 高まっております。

引き続き、国土強靭化に向けた国内主要インフラ整備 事業への継続的な取組みに加えて、廃棄物処分関連や地 熱発電事業への積極的な営業活動を展開してまいります。



「クニシール」

- ●クニゲルV1 ●クニゲルV2 ●クニゲルGS ●クニゲルGT
- ●クニゲルU ●クニゲルU ●クニキャップTG ●クニシール
- ●クニシート

参考資料 ベントナイト事業③





当社新ブランド「RAGDOLL」公式Instagram



ベントナイトの高い吸水性と粘結性を利用し、 ペットの尿などの排泄物を固め、手軽に処理 するペット用トイレ砂は、私たちの最も身近な ベントナイト製品です。

今後は自社製品の取り扱いのみではなく、 他ペットメーカーや大手小売店とのPB品の開発 も進めるなど、お客さまのニーズへの柔軟かつ 迅速な対応を図ってまいります。





- RAGDOLL プレミアムサンド 天然ジビエペットフード
- ●猫砂1番 ●猫砂1番金印 ●猫砂1番大粒

参考資料 クレイサイエンス事業①



ファインケミカル

独自の製法により天然ベントナイトを精製した「クニピア」、 合成技術によってつくり出された粘土「合成スメクトン」、さらに 合成スメクトンの親水性質を親油性へと改質した「有機化スメクト ントなど高機能製品を販売しております。また、ゴミ焼却場の排ガ ス処理工程において使用される「環境保全処理剤」も当部にて取り 扱っております。

ファインケミカル分野における「クニピア」や「スメクトン」は、 高純度と特徴づけられる素材の強みを活かし、セラミックス、塗料、 樹脂といった工業製品に機能性材料として利用されています。さら に近年は、イオン交換技術をはじめとする、粘土の機能特性をさら に引き出すための技術開発に積極的に取り組んでおり、更なる用途 拡大を目指しております。

- ●「クニピア」シリーズ ●「スメクトン」シリーズ
- ●「モイストナイト」シリーズ ●環境保全処理剤





参考資料 クレイサイエンス事業②



ライフサイエンス

当部は24.3期4月の組織変更により、「飼料添加物」や「食品 添加物」に加え、「化粧品」用途も加わることとなりました。

「飼料添加物」用途においては、当社ベントナイトがカビ毒吸 着能に加え、たんぱく質毒素も吸着する効能を生かし、畜産業界 における治療から予防医療へのニーズシフトへ対応するとともに、 今後は「動物医薬」用途なども開拓してまいります。

また、当社ベントナイトはクレイの一種として、増粘効果だけ でなく吸着剤、乳化安定剤、保湿剤などの成分として多くの化粧 品に採用されています。現在、天然由来の化粧品原料が注目を浴 びており、精製ベントナイトのクニピアシリーズはCOSMOS APPROVEDを取得いたしました。最近では当社独自の精製技術 を用いて、ベントナイトからモンモリロナイトを99%以上抽出 した高純度クニピア「クニピア-RF」を上市いたしました。

自然の恵みであるクレイと私たちのテクノロジーを融合し、 安心してお使いいただける製品を世界中へお届けしていきます。





- クニボンドRT
- ●ダブルボンド ●ダブルフリー●十壌改良剤
- クニミネ「ペプチオン® |
- ●「クニピア」シリーズ



アグリビジネス

製剤技術に強みを持つ当社グループでは、農薬加工において薬効成分 が放出される速度や量をコントロールする技術などを活かし、国内・ 海外の農薬メーカーなどから農薬の加工を受注しています。

農薬業界では消費者ニーズの多様化や商品サイクルの短期化に伴い、 多品種少量化の流れが加速するとともに、殺虫・殺菌剤と除草剤のクロ スコンタミネーションを防止する管理体制や薬害への対策強化が一層厳 しく求められています。

当社グループでは、多品種少量生産とクロスコンタミネーション防止 に対応できる体制を構築するとともに、独自の造粒技術に磨きをかけな がら、受注を拡大してまいりました。

今後もITなどを活用した省人・省力化への設備投資とともに生産管理 体制を強化しながら、顧客満足度の向上を目指してまいります。







主力商品・サービス

- ●農薬受託加工
- ●クレー細粒剤●クニゲルV1●天竜
- ●「クニピア」シリーズ ●「スメクトン」シリーズ



ご視聴ありがとうございました。

当資料に記載されている内容は、種々の前提に基づいたものであり、 記載された将来の計画数値、施策の実現を確約したり、保証するものではありません。

IRお問合せ先

https://www.kunimine.co.jp/toiawase/ir.html